

2008年度に帰国した技能実習生
フォローアップ調査報告書

2010年

財団法人 国際研修協力機構

JITCO

目 次

I 調査の概要

1. 調査趣旨	1
2. 調査対象者	1
3. 調査方法	1
4. 調査項目	1
5. 調査期間	1
6. 調査対象者数と有効回収数・有効回収率	1

II 結果の概要

1. 2008年度 帰国実習生（回答者）の性別、年齢、研修・技能実習期間について	1
2. 日本で行った研修・技能実習の職種について	3
3. 来日の目的について	3
4. 研修手当について	4
5. 研修期間中の所定時間外作業について	4
6. 賃金について	5
7. 技能実習期間中の残業について	5
8. 研修・技能実習中に禁止された事項について	6
9. 出国前の保証金について	6
10. 帰国後の保証金返還状況について	7
11. 帰国後の就職状況について	7
12. 帰国後の就職先における職務上の地位について	10
13. 研修・技能実習で得たもののうち、帰国後、役に立ったことについて	11
14. 研修・技能実習を通して、良かった点・不満に感じた点について（自由記述）	12

III 参考資料

1. 帰国実習生フォローアップ調査票	17
--------------------	----

I. 調査の概要

1. 調査趣旨

本調査は、技能実習を修了した帰国実習生から帰国後の実態等を調査したものであり、帰国後の就職状況、職務上の地位の変化、我が国で習得した技術・技能・知識が活用されているかなどを明らかにし、技能実習制度の適正化を図るための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査対象者

主要送出し国である中国、インドネシア、ベトナムの出身者で、2008年11月1日から2009年3月31日の間に、母国に帰国した技能実習生10,541名に対して調査の協力を依頼した。

3. 調査方法

- (1) 帰国を予定する技能実習生が在籍する第二次受入れ機関に対し、JITCOから調査対象者の国籍に対応した母国語表記の調査票を密封した状態で、技能実習生本人への配布を依頼した。
- (2) 回答は、多肢選択方式（一部、金額記入欄と自由回答欄あり）とし、氏名及び所属機関名等は、無記名でも可とした。
- (3) 調査対象者が母国に帰国後、調査票に記入の上、JITCOに返送していただいた。

4. 調査項目

本調査項目は、Ⅲ参考資料 調査票の質問項目に示すとおりである。

5. 調査期間

(1) 調査票の配布期間

2008年10月23日から2009年3月2日までの間、JITCOから第二次受入れ機関に配布を行った。

(2) 調査票の回収期間

2008年12月8日から2009年7月31日までの間、帰国した技能実習生からJITCOに郵送されたものを回収した。

6. 調査対象者数と有効回収数・有効回収率

調査対象者数は10,541人で、有効回答数は2,102人、有効回答率は20.0%である。国籍別の内訳は表1のとおりで、「ベトナム」の回収率が他の国に比べ低かった。

【表1】有効回収数、回収率

国籍	調査対象者数	有効回収数	有効回収率
中国	8,578人	1,861人	21.7%
インドネシア	1,037人	176人	17.0%
ベトナム	926人	65人	7.0%
合計	10,541人	2,102人	19.9%

II. 結果の概要

1. 2008年度 帰国実習生（回答者）の性別、年齢、研修・技能実習期間について

(1) 性別について

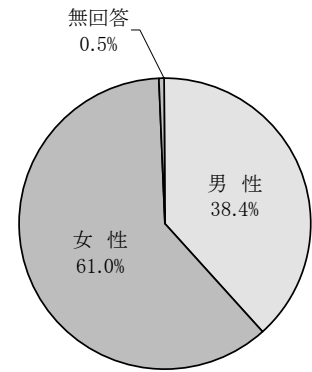
回答者の性別構成は、「男性」が808人（38.4%）、「女性」が1,283人（61.0%）であった。

国籍別では、中国は「女性」が多く67.1%を占めている。ベトナムは「男性」の割合がやや高く53.8%に上っていた。一方、インドネシアでは「男性」が96.6%と大半を占めていた。

【表1】性別の分布

	中国	インドネシア	ベトナム	合計
男性	603人 (32.4%)	170人 (96.6%)	35人 (53.8%)	808人 (38.4%)
女性	1,248人 (67.1%)	6人 (3.4%)	29人 (44.6%)	1,283人 (61.0%)
無回答	10人 (0.5%)	0人 (0.0%)	1人 (1.5%)	11人 (0.5%)
合計	1,861人	176人	65人	2,102人

図1 性別の分布



(2) 年齢について

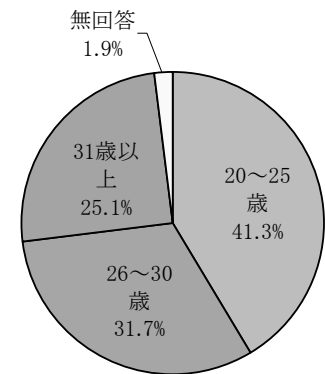
回答者の年齢構成は、「20～25歳」が869人（41.3%）、「26～30歳」が667人（31.7%）、「31歳以上」が527人（25.1%）と、若年層ほど多い傾向を示していた。

国籍別でも同様の傾向を示していたが、中国とベトナムは「31歳以上」が27.5%、20.0%と比較的多く、一方、インドネシアは「20～25歳」が75.0%と高い割合を示していた。

【表2】年齢別の分布

	中国	インドネシア	ベトナム	合計
20～25歳	710人 (38.2%)	132人 (75.0%)	27人 (41.5%)	869人 (41.3%)
26～30歳	605人 (32.5%)	40人 (22.7%)	22人 (33.8%)	667人 (31.7%)
31歳以上	512人 (27.5%)	2人 (1.1%)	13人 (20.0%)	527人 (25.1%)
無回答	34人 (1.8%)	2人 (1.1%)	3人 (4.6%)	39人 (1.9%)
合計	1,861人	176人	65人	2,102人

図2 年齢別の分布



(3) 研修・技能実習期間について

【表3】のとおり、回答者が研修・技能実習に従事していた期間については、全体では「2005年12月～2008年12月」が437人（20.8%）と最も多くを占め、次いで「2006年3月～2009年3月」が374人（17.8%）、「2006年1月～2009年1月」が370人（17.6%）、「2006年2月～2009年2月」が263人（12.5%）で、この4つの研修・技能実習期間で全体の約7割を占めていた。

国籍別では、中国は上記の全体分布とほぼ同様の傾向を示しているが、インドネシアでは「2005年12月～2008年12月」の占める割合が33.0%と特に高くなっており、またベトナムは「2006年1月～2009年1月」が36.9%、「2006年2月～2009年2月」が35.4%で、この2パターンで7割を超えていた。

【表3】研修・技能実習期間の分布

期 間	中 国	インドネシア	ベトナム	合 計
2005年12月～2008年12月	378人 (20.3%)	58人 (33.0%)	1人 (1.5%)	437人 (20.8%)
2006年3月～2009年3月	344人 (18.5%)	21人 (11.9%)	9人 (13.8%)	374人 (17.8%)
2006年1月～2009年1月	318人 (17.1%)	28人 (15.9%)	24人 (36.9%)	370人 (17.6%)
2006年2月～2009年2月	223人 (12.0%)	17人 (9.7%)	23人 (35.4%)	263人 (12.5%)
その他	598人 (32.1%)	52人 (29.5%)	8人 (12.3%)	658人 (31.3%)
合計	1,861人	176人	65人	2,102人

2. 日本で行った研修・技能実習の職種について

研修・技能実習で修得した職種については、「繊維・衣服（縫製）」が734人（34.9%）と最も多く、次いで「機械金属製品製造」が352人（16.7%）、「食料品製造」が271人（12.9%）を占めた。（表4）

国籍別では、中国は「繊維・衣服（縫製）」が最も多く37.9%、次いで「機械金属製品製造」15.4%、「食料品製造」が14.5%であった。インドネシアは「漁業」と「機械金属製品製造」が31.3%と最も多く、次いで「建設」が11.4%であった。ベトナムは「繊維・衣服（縫製）」が43.1%と最も多く、次いで「機械金属製品製造」が15.4%、「溶接」が9.2%を占めていた。

【表4】研修・技能実習の職種の分布

	中国	インドネシア	ベトナム	合計
農業	126人(6.8%)	11人(6.3%)	0人(0.0%)	137人(6.5%)
漁業	23人(1.2%)	55人(31.3%)	0人(0.0%)	78人(3.7%)
建設	50人(2.7%)	20人(11.4%)	3人(4.6%)	73人(3.5%)
食料品製造	269人(14.5%)	2人(1.1%)	0人(0.0%)	271人(12.9%)
繊維・衣服（縫製）	706人(37.9%)	0人(0.0%)	28人(43.1%)	734人(34.9%)
機械金属製品製造	287人(15.4%)	55人(31.3%)	10人(15.4%)	352人(16.7%)
溶接	75人(4.0%)	13人(7.4%)	6人(9.2%)	94人(4.5%)
プラスチック製品製造	116人(6.2%)	7人(4.0%)	1人(1.5%)	124人(5.9%)
その他	200人(10.7%)	12人(6.8%)	16人(24.6%)	228人(10.8%)
無回答	9人(0.5%)	1人(0.6%)	1人(1.5%)	11人(0.5%)
合計	1,861人	176人	65人	2,102人

図3 職種の分布

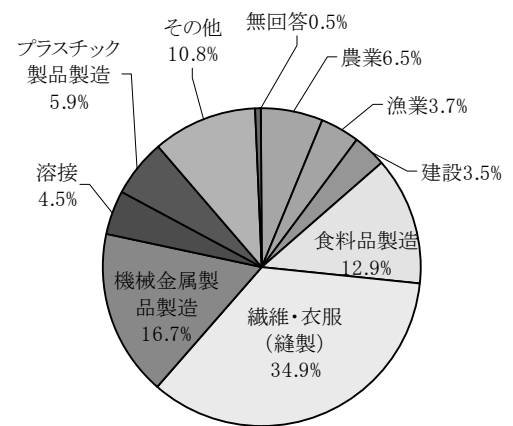


図3-1 中国

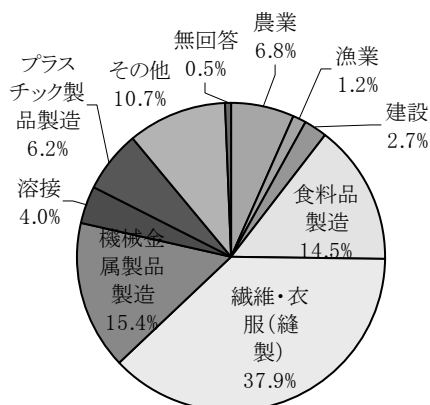


図3-2 インドネシア

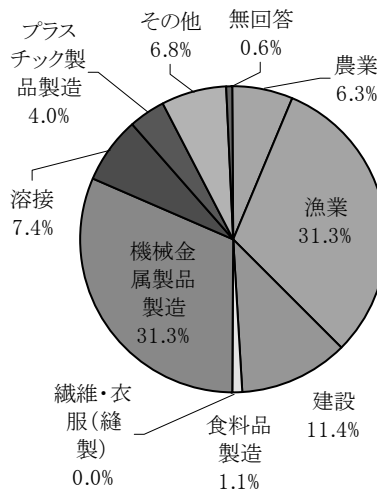
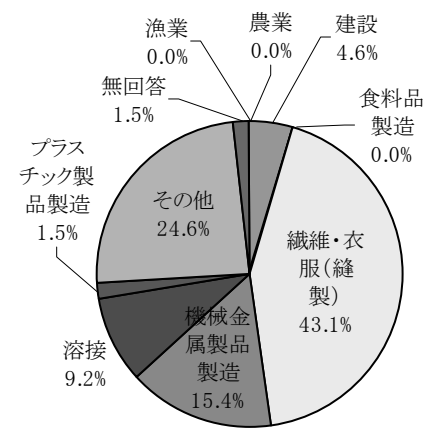


図3-3 ベトナム



3. 来日の目的について

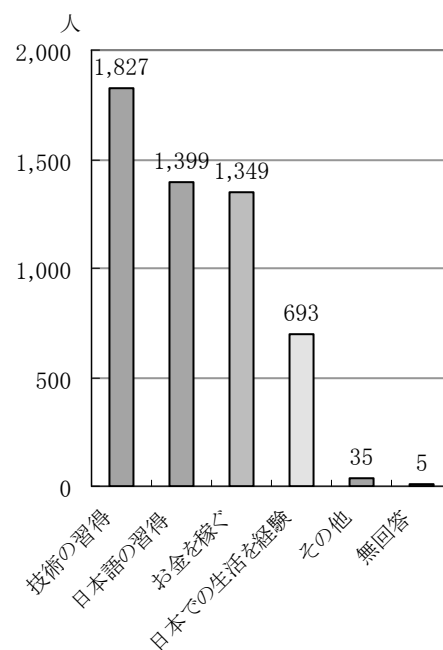
来日の目的については、「技術の習得」が1,827人（86.9%）と最も多く、次いで「日本語の修得」が1,399人（66.6%）、「お金を稼ぐ」が1,349人（64.2%）であった。

なお、国籍別では、ベトナムは「技術の習得」が76.9%と比較的低い反面、「お金を稼ぐ」とする意見が81.5%と高い割合を示していた。

【表5】来日の目的（複数回答）

	中国	インドネシア	ベトナム	合計
技術の習得	1,619人 (87.0%)	158人 (89.8%)	50人 (76.9%)	1,827人 (86.9%)
日本語の習得	1,229人 (66.0%)	131人 (74.4%)	39人 (60.0%)	1,399人 (66.6%)
お金を稼ぐ	1,190人 (63.9%)	106人 (60.2%)	53人 (81.5%)	1,349人 (64.2%)
日本での生活を経験	613人(32.9%)	64人 (36.4%)	16人 (24.6%)	693人 (33.0%)
その他	24人 (1.3%)	8人 (4.5%)	3人 (4.6%)	35人 (1.7%)
無回答	3人 (0.2%)	1人 (0.6%)	1人 (1.5%)	5人 (0.2%)
備考	(回答数/1,861)	(回答数/176)	(回答数/65)	(回答数/2,102)

図4 来日の目的



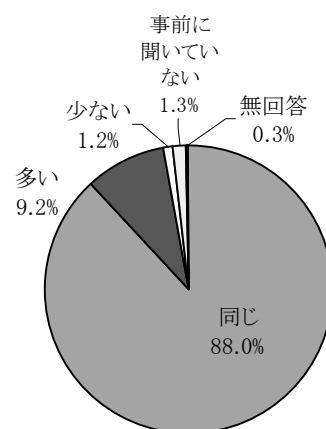
4. 研修手当について

研修中に受け取った研修手当については、あらかじめ約束された金額と「同じ」が1,849人（88.0%）で、次いで「多い」が193人（9.2%）であった。

【表6】約束された研修手当と実際の金額との比較

	中国	インドネシア	ベトナム	合計
同じ	1,637人 (88.0%)	163人 (92.6%)	49人 (75.4%)	1,849人 (88.0%)
多い	167人 (9.0%)	13人 7.4%	13人 (20.0%)	193人 (9.2%)
少ない	26人 (1.4%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	26人 (1.2%)
金額について事前に聞いていない	27人 (1.5%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	27人 (1.3%)
無回答	4人 (0.2%)	0人 (0.0%)	3人 (4.6%)	7人 (0.3%)
合計	1,861人	176人	65人	2,102人

図5 受け取った研修手当の額



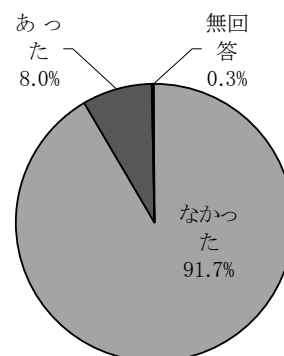
5. 研修期間中の所定時間外作業について

研修期間中の所定時間外作業については、「なかった」とする回答が1,928人（91.7%）で、「あった」とする回答は168人（8.0%）であった。

【表7】研修期間中の所定時間外作業

	中国	インドネシア	ベトナム	合計
なかった	1,725人 (92.7%)	151人 (85.8%)	52人 (80.0%)	1,928人 (91.7%)
あった	132人 (7.1%)	25人 (14.2%)	11人 (16.9%)	168人 (8.0%)
無回答	4人 (0.2%)	0人 (0.0%)	2人 (3.1%)	6人 (0.3%)
合計	1,861人	176人	65人	2,102人

図6 研修期間中の所定時間外作業



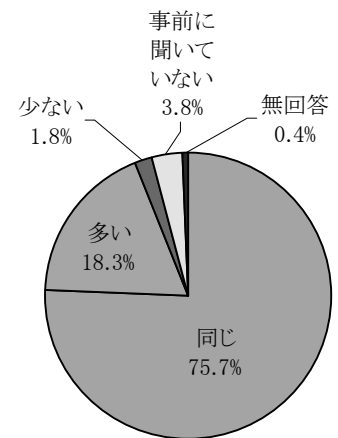
6. 賃金について

技能実習中に受け取った賃金については、あらかじめ約束された金額と「同じ」とする回答が1,591人(75.7%)で、次いで「多い」が384人(18.3%)であった。一方「少ない」とする回答は38人(1.8%)で、その他「事前に聞いていない」は80人(3.8%)となっていた。

【表8】 約束された賃金と実際の金額との比較

	中国	インドネシア	ベトナム	合計
同じ	1,385人 (74.4%)	159人 (90.3%)	47人 (72.3%)	1,591人 (75.7%)
多い	357人 (19.2%)	13人 (7.4%)	14人 (21.5%)	384人 (18.3%)
少ない	34人 (1.8%)	3人 (1.7%)	1人(1.5%)	38人 (1.8%)
金額について事前に聞いていない	79人 (4.2%)	1人 (0.6%)	0人 (0.0%)	80人 (3.8%)
無回答	6人 (0.3%)	0人 (0.0%)	3人 (4.6%)	9人 (0.4%)
合計	1,861人	176人	65人	2,102人

図7 受け取った賃金



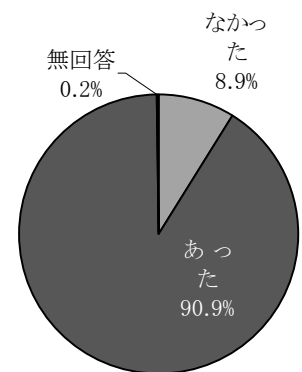
7. 技能実習期間中の残業について

技能実習期間中の残業については、「あった」が1,911人(90.9%)で、「なかった」は187人(8.9%)であった。

【表9】 技能実習期間中の残業

	中国	インドネシア	ベトナム	合計
なかった	127人 (6.8%)	54人 (30.7%)	6人 (9.2%)	187人 (8.9%)
あった	1,730人 (93.0%)	122人 (69.3%)	59人 (90.8%)	1,911人 (90.9%)
無回答	4人 (0.2%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	4人 (0.2%)
合計	1,861人	176人	65人	2,102人

図8 技能実習期間中の残業



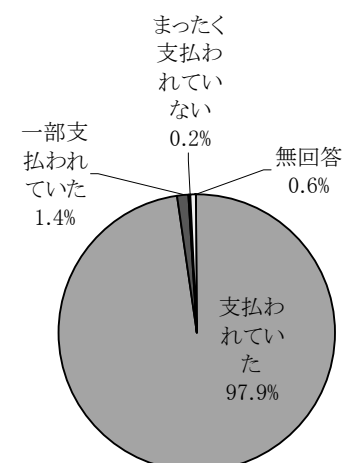
(1) 残業をした場合の残業代について

技能実習期間中に残業をした場合の残業代については、「支払われていた」が1,870人(97.9%)で、「一部支払われていた」が27人(1.4%)、「まったく支払われていない」が3人(0.2%)であった。

【表10】 技能実習期間中の残業代の支払い

	中国	インドネシア	ベトナム	合計
支払われていた	1,700人 (98.3%)	114人 (93.4%)	56人 (94.9%)	1,870人 (97.9%)
一部支払われていた	19人 (1.1%)	6人 (4.9%)	2人 (3.4%)	27人 (1.4%)
まったく支払われていない	1人 (0.1%)	2人 (1.6%)	0人 (0.0%)	3人 (0.2%)
無回答	10人 (0.6%)	0人 (0.0%)	1人 (1.7%)	11人 (0.6%)
合計	1,730人	122人	59人	1,911人

図9 技能実習期間中の残業代の残業代



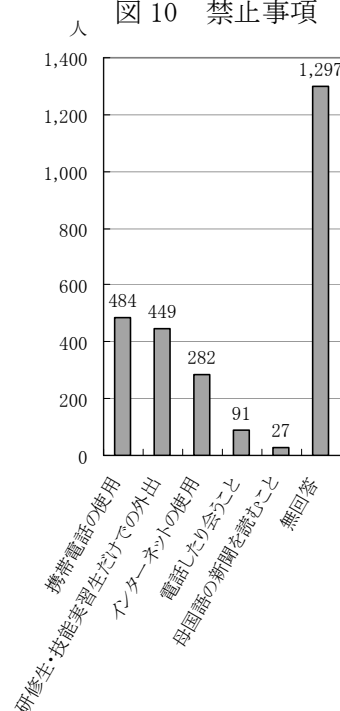
8. 研修・技能実習中に禁止された事項について

研修・技能実習中に禁止された事項については、「携帯電話の使用」が最も多く回答者全体の484人（23.0%）で、次いで「研修生・技能実習生だけで外出」が449人（21.4%）、「インターネットの使用」が282人（13.4%）であった。

【表11】研修・技能実習中に禁止された事項（複数回答）

	中国	インドネシア	ベトナム	合計
携帯電話の使用	444人 (23.9%)	33人 (18.8%)	7人 (10.8%)	484人 (23.0%)
研修生・技能実習生だけで外出	435人 (23.4%)	10人 (5.7%)	4人 (6.2%)	449人 (21.4%)
インターネットの使用	243人 (13.1%)	30人 (17.0%)	9人 (13.8%)	282人 (13.4%)
研修生・技能実習生に電話したり会うこと	77人 (4.1%)	12人 (6.8%)	2人 (3.1%)	91人 (4.3%)
母国語の新聞を読むこと	23人 (1.2%)	4人 (2.3%)	0人 (0.0%)	27人 (1.3%)
無回答	1,111人 (59.7%)	136人 (77.3%)	50人 (76.9%)	1,297人 (61.7%)
備考	(回答数/1,861)	(回答数/176)	(回答数/65)	(回答数/2,102)

図10 禁止事項



9. 出国前の保証金について

(1) 出国前に保証金を納めたかについて

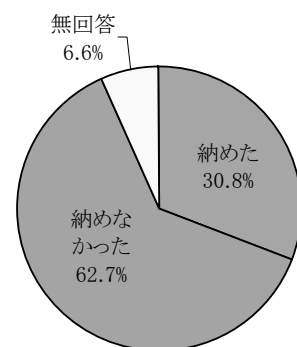
出国前の保証金の納入状況については、「納めなかった」が1,317人（62.7%）と全体の約2/3を占め、「納めた」は647人（30.8%）と約1/3を占める結果であった。

国籍別では、中国は上記の全体結果とほぼ同様の傾向で、インドネシアは「納めなかった」が91.5%であり、ベトナムは「納めた」が81.5%であった。

【表12】出国前の保証金

	中国	インドネシア	ベトナム	合計
納めた	589人 (31.6%)	5人 (2.8%)	53人 (81.5%)	647人 (30.8%)
納めなかった	1,147人 (61.6%)	161人 (91.5%)	9人 (13.8%)	1,317人 (62.7%)
無回答	125人 (6.7%)	10人 (5.7%)	3人 (4.6%)	138人 (6.6%)
合計	1,861人	176人	65人	2,102人

図11 出国前の保証金



(2) 納めた金額について

前記(1)で保証金を「納めた」と回答した者に、その納めた金額については、中国では「1万円～2万円未満」（145,000円～290,000円未満）、ベトナムは「1億ドン～1億5,000万ドン未満」（860,000円～1,290,000円未満）と回答した者が最も多かった。インドネシアは「納めた」と回答した5人中4人が「2,500万ルピア」（215,000円）であった。

なお、回答を単純平均したところ、中国が19,519円（283,026円）、ベトナムが105,654,763ドン（602,232円）、インドネシアが2,500万ルピア（215,000円）であった。

【表13】 出国前の保証金額

中国		ベトナム	
金額 (単位:元)	人	金額 (単位:ドン)	人
1万未満	50	5000万未満	4
1万～2万未満	299	5000万～1億未満	13
2万～3万未満	107	1億～1億5000万未満	17
3万～5万未満	40	1億5000万以上	6
5万以上	24	無回答	13
無回答	69	平均	105,654,763ドン
平均	19,519 円	※1,000ドン=5.7 円	602, 232 円
※1元=14.5 円	283, 026 円		

※ 換算レートは2009年4月1日現在のもの

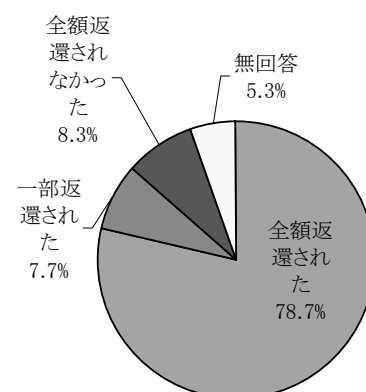
10. 帰国後の保証金返還状況について

母国へ帰国した後、納めた保証金の返還状況については、509人(78.7%)が「全額返還された」と答えており、概ね返還されている状況にあった。ただし、「全額返還されなかった」が54人(8.3%)、「一部返還された」が50人(7.7%)であった。これらの合計104人(16%)は、保証金が完全には返還されていない状況と捉えられる。

【表14】 帰国後の保証金返還状況

	中国	インドネシア	ベトナム	合計
全額返還された	458人 (77.8%)	4人 (80.0%)	47人 (88.7%)	509人 (78.7%)
一部返還された	44人 (7.5%)	0人 (0.0%)	6人 (11.3%)	50人 (7.7%)
全額返還されなかった	54人 (9.2%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	54人 (8.3%)
無回答	33人 (5.6%)	1人 (20.0%)	0人 (0.0%)	34人 (5.3%)
合計	589人	5人	53人	647人

図12 保証金返還状況



11. 帰国後の就職状況について

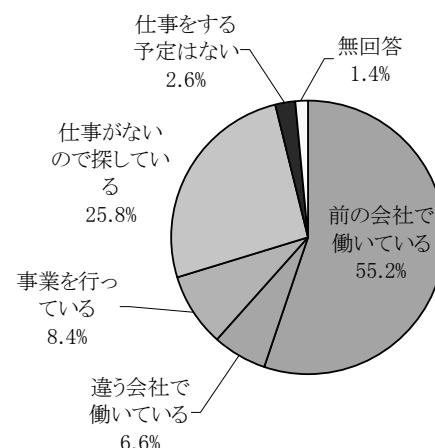
(1) 帰国後の就職状況

母国に帰国した後の就職状況については、「日本へ行く前に働いていた会社に戻って働いている」と答えた人が最も多く全体の1,160人(55.2%)であった。一方「自分で又はほかの人と共同で事業を行っている」は176人(8.4%)、「日本へ行く前とは違う会社で働いている」は139人(6.6%)であった。その他「仕事がないので探している」が543人(25.8%)であった。

【表15】 母国へ帰国後の就職状況

	中国	インドネシア	ベトナム	合計
日本に行く前に働いていた会社に戻って働いている	1,117人 (60.0%)	34人 (19.3%)	9人 (13.8%)	1,160人 (55.2%)
日本へ行く前とは違う会社で働いている	111人 (6.0%)	25人 (14.2%)	3人 (4.6%)	139人 (6.6%)
自分で又はほかの人と共同で事業を行っている	145人 (7.8%)	30人 (17.0%)	1人 (1.5%)	176人 (8.4%)
仕事がないので探している	413人 (22.2%)	79人 (44.9%)	51人 (78.5%)	543人 (25.8%)
仕事をする予定はない	47人 (2.5%)	7人 (4.0%)	1人 (1.5%)	55人 (2.6%)
無回答	28人 (1.5%)	1人 (0.6%)	0人 (0.0%)	29人 (1.4%)
合計	1,861人	176人	65人	2,102人

図13 帰国後の就職状況



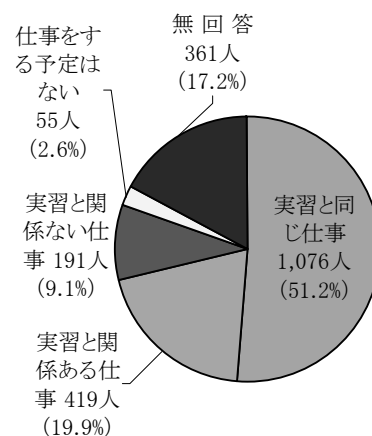
(2) 就職先の仕事及び探している仕事の内容について

「仕事をする予定はない」以外の回答者に、帰国後の具体的な仕事内容（実際に就いている又は探している内容）を確認したところ、「実習と同じ仕事」が1,076人（51.2%）と過半数を占め、次いで「実習と関係のある仕事」が419人（19.9%）であった。一方「実習と関係ない仕事」は191人（9.1%）であった。

【表16】 帰国後の就職先の仕事及び探している仕事の内容

	中国	インドネシア	ベトナム	合計
実習と同じ仕事	1,012人 (54.4%)	39人 (22.2%)	25人 (38.5%)	1,076人 (51.2%)
実習と関係ある仕事	365人 (19.6%)	42人 (23.9%)	12人 (18.5%)	419人 (19.9%)
実習と関係ない仕事	149人 (8.0%)	31人 (17.6%)	11人 (16.9%)	191人 (9.1%)
仕事をする予定はない	47人 (2.5%)	7人 (4.0%)	1人 (1.5%)	55人 (2.6%)
無回答	288人 (15.5%)	57人 (32.4%)	16人 (24.6%)	361人 (17.2%)
合計	1,861人	176人	65人	2,102人

図14 仕事の内容



(3) 就職状況と就職先の仕事内容について

(1) の就職状況と (2) の就職先の仕事内容の関係をクロス集計してみると、【表17】のような結果であった。

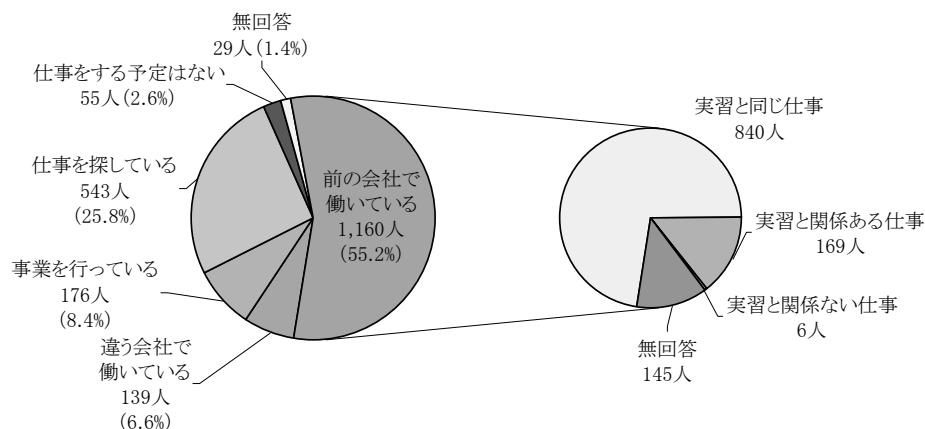
【表17】 就職先の仕事内容

	実習と同じ仕事	実習と関係のある仕事	実習と関係のない仕事	仕事をする予定はない	無回答	合計
日本に行く前に働いていた会社に戻って働いている	840人 (40.0%)	169人 (8.0%)	6人 (0.3%)	—	145人 (6.9%)	1,160人 (55.2%)
日本へ行く前とは違う会社で働いている	54人 (2.6%)	54人 (2.6%)	11人 (0.5%)	—	20人 (1.0%)	139人 (6.6%)
自分で又はほかの人と共同で事業を行っている	22人 (1.0%)	66人 (3.1%)	63人 (3.0%)	—	25人 (1.2%)	176人 (8.4%)
仕事がないので探している	160人 (7.6%)	130人 (6.2%)	111人 (5.3%)	—	142人 (6.8%)	543人 (25.8%)
仕事をする予定はない	—	—	—	55人 (2.6%)	—	55人 (2.6%)
無回答	—	—	—	—	29人 (1.4%)	29人 (1.4%)
合計	1,076人 (51.2%)	419人 (19.9%)	191人 (9.1%)	55人 (2.6%)	361人 (17.2%)	2,102人 (100.0%)

① 「日本に行く前に働いていた会社に戻って働いている」と回答した1,160人は、どのような仕事に就いているか

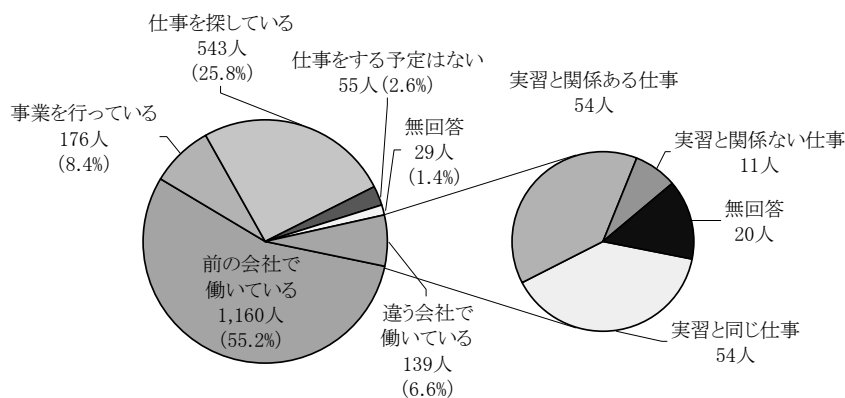
【グラフ1】のとおり、「実習と同じ仕事」が840人、「実習と関係のある仕事」が169人であり、合計で1,009人（87.0%）を占めていた。

【グラフ1】 前の会社で働いている人の仕事内容について



② 「日本へ行く前とは違う会社で働いている」と回答した139人は、どのような仕事に就いているか【グラフ2】のとおり、「実習と同じ仕事」が54人、「実習と関係のある仕事」が同じく54人であり、合計で108人（77.7%）を占めていた。

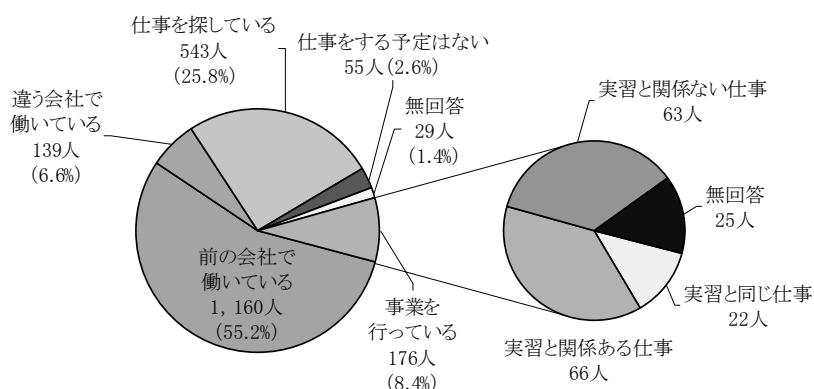
【グラフ2】 違う会社で働いている人の仕事内容について



③ 「自分で又は他の人と共同で事業を行っている」と回答した176人は、どのような仕事に就いているか

【グラフ3】のとおり、「実習と同じ仕事」が22人、「実習と関係のある仕事」が66人であり、合計で88人（50.0%）であった。

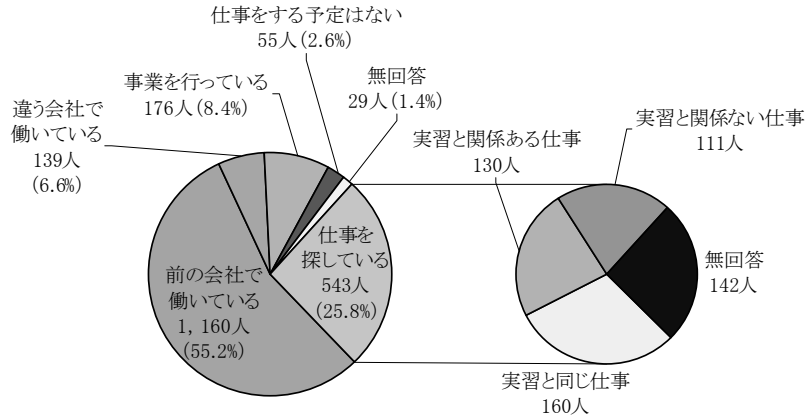
【グラフ3】 自分又はほかの人と共同で事業を行っている人の仕事内容について



④「仕事がないので探している」と回答した543人は、どのような仕事を希望しているか

【グラフ4】のとおり、「実習と同じ仕事」を希望している人が160人、「実習と関係のある仕事」が130人であり、合計で290人（53.4%）であった。

【グラフ4】 仕事を探している人の仕事内容について



12. 帰国後の就職先における職務上の地位について

(1) 帰国後の職務上の地位

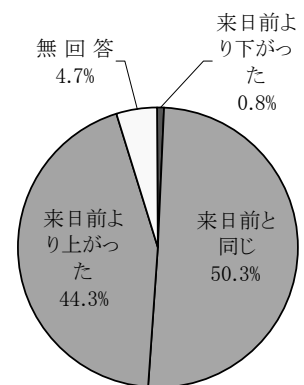
前記11. (1)で「日本に行く前に働いていた会社に戻って働いている」、「日本に行く前とは違う会社で働いている」と回答した1,299人について、帰国後の職場上の地位について確認したところ、全体では「来日前と同じ」が653人（50.3%）と、ほぼ半数を占め、また「来日前より上がった」と回答した人は575人（44.3%）であった。

国籍別については、中国はほぼ同様の傾向を示しているが、インドネシアは「来日前と同じ」が62.7%と約2/3を占めており、またベトナムは「来日前より上がった」が50.0%と最も多くを占めていた。

【表18】 母国へ帰国後の就職先における職位の変化

	中国	インドネシア	ベトナム	合計
来日前より下がった	9人 (0.7%)	1人 (1.7%)	0人 (0.0%)	10人 (0.8%)
来日前と同じ	611人(49.8%)	37人 (62.7%)	5人 (41.7%)	653人(50.3%)
来日前より上がった	552人(45.0%)	17人 (28.8%)	6人 (50.0%)	575人(44.3%)
無回答	56人 (4.6%)	4人 (6.8%)	1人 (8.3%)	61人 (4.7%)
合計	1,228人	59人	12人	1,299人

図15 職位の変化



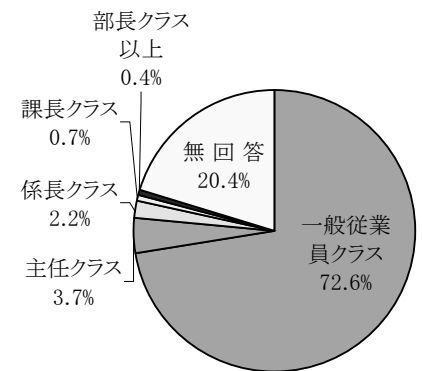
(2) 具体的な職務上の地位について

来日前の職務上の地位については、全体では「一般従業員クラス」が1,526人（72.6%）と大半を占め、それ以外は、それぞれ5%未満と少なかった。

【表19】 来日前の職務上の地位

	中国	インドネシア	ベトナム	合計
一般従業員クラス	1,379人 (74.1%)	105人 (59.7%)	42人 (64.6%)	1,526人 (72.6%)
主任クラス	76人 (4.1%)	1人 (0.6%)	0人 (0.0%)	77人 (3.7%)
係長クラス	43人 (2.3%)	0人 (0.0%)	3人 (4.6%)	46人 (2.2%)
課長クラス	15人 (0.8%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	15人 (0.7%)
部長クラス以上	7人 (0.4%)	1人 (0.6%)	1人 (1.5%)	9人 (0.4%)
無回答	341人 (18.3%)	69人 (39.2%)	19人 (29.2%)	429人 (20.4%)
合計	1,861人	176人	65人	2,102人

図 16 来日前の職位



帰国後の職務上の地位については、全体では「一般従業員クラス」と回答した人が780人（37.1%）と最も多く、次いで「主任クラス」が390人（18.6%）、「係長クラス」が247人（11.8%）であった。

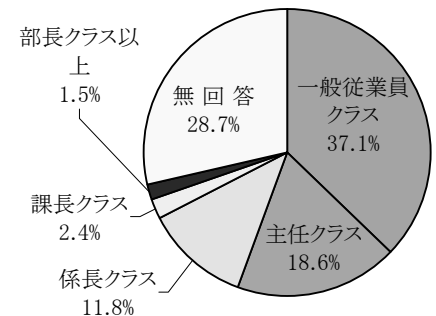
上記のとおり、来日前は「一般従業員クラス」が圧倒的に多かったが、帰国後は「一般従業員クラス」の割合が減少し、「主任クラス」と「係長クラス」という上位の職位の割合が増えて、合計で637人（30.4%）（来日前は123人（5.9%））であった。

国籍別では、中国は主任、係長クラスの増加が、またインドネシアは主任、課長クラスの増加が顕著であった。ベトナムは係長クラスが43.1%と最も多かった。

【表20】 帰国後の職務上の地位

	中国	インドネシア	ベトナム	合計
一般従業員クラス	717人 (38.5%)	45人 (25.6%)	18人 (27.7%)	780人 (37.1%)
主任クラス	365人 (19.6%)	24人 (13.6%)	1人 (1.5%)	390人 (18.6%)
係長クラス	215人 (11.6%)	4人 (2.3%)	28人 (43.1%)	247人 (11.8%)
課長クラス	33人 (1.8%)	18人 (10.2%)	0人 (0.0%)	51人 (2.4%)
部長クラス以上	23人 (1.2%)	8人 (4.5%)	0人 (0.0%)	31人 (1.5%)
無回答	508人 (27.3%)	77人 (43.8%)	18人 (27.7%)	603人 (28.7%)
合計	1,861人	176人	65人	2,102人

図 17 帰国後の職位



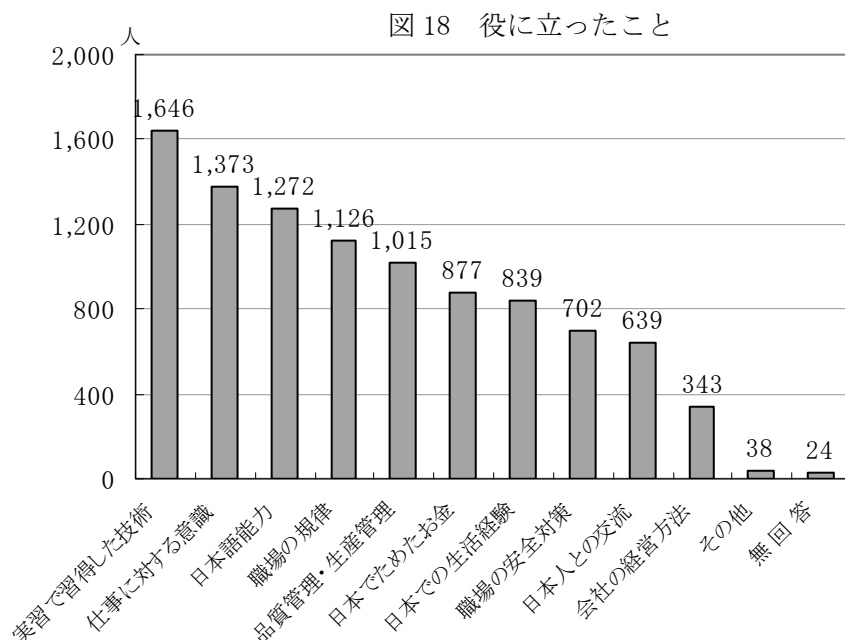
13. 研修・技能実習で得たもののうち、帰国後、役に立ったことについて（複数回答）

研修・技能実習で得たものの中で、帰国後、役に立ったことについては「実習で習得した技術」が1,646人（78.3%）で最も多く、次いで「仕事に対する意識」が1,373人（65.3%）で、「日本語能力」が1,272人（60.5%）であった。

国籍別では、中国は「実習で習得した技術」が79.5%で最も多く、次いで「日本語能力」が60.9%に上っていた。インドネシアは「職場の規律」が75.6%、「実習で取得した技術」が71.0%と高い数字を示した。ベトナムでは「職場の規律」が72.3%、「実習で習得した技術」が63.1%と多くを占めていた。

【表21】 帰国後、役に立ったこと（複数回答）

	中国	インドネシア	ベトナム	合計
実習で習得した技術	1,480 人 (79.5%)	125 人 (71.0%)	41 人 (63.1%)	1,646 人 (78.3%)
仕事に対する意識	1,212 人 (65.1%)	120 人 (68.2%)	41 人 (63.1%)	1,373 人 (65.3%)
日本語能力	1,134 人 (60.9%)	113 人 (64.2%)	25 人 (38.5%)	1,272 人 (60.5%)
職場の規律	946 人 (50.8%)	133 人 (75.6%)	47 人 (72.3%)	1,126 人 (53.6%)
品質管理や生産管理の方法	916 人 (49.2%)	66 人 (37.5%)	33 人 (50.8%)	1,015 人 (48.3%)
日本でためたお金	754 人 (40.5%)	100 人 (56.8%)	23 人 (35.4%)	877 人 (41.7%)
日本での生活経験	732 人 (39.3%)	79 人 (44.9%)	28 人 (43.1%)	839 人 (39.9%)
職場の安全対策	568 人 (30.5%)	96 人 (54.5%)	38 人 (58.5%)	702 人 (33.4%)
日本人との交流	582 人 (31.3%)	37 人 (21.0%)	20 人 (30.8%)	639 人 (30.4%)
会社の経営方法	317 人 (17.0%)	17 人 (9.7%)	9 人 (13.8%)	343 人 (16.3%)
その他	29 人 (1.6%)	4 人 (2.3%)	5 人 (7.7%)	38 人 (1.8%)
無回答	20 人 (1.1%)	0 人 (0.0%)	4 人 (6.2%)	24 人 (1.1%)
備考	(回答数/1,861)	(回答数/176)	(回答数/65)	(回答数/2,102)



14. 研修・技能実習を通して、良かった点・不満に感じた点について（自由記述）

（1）自由記述の数について

研修・技能実習を通して良かった点、不満に感じた点等について、自由に意見を記入していただいたところ、1,081件の記述があり、内訳は【表4】のとおりであった。

なお、1,049件は母国語での記入であった

【表22】自由記述回答者の内訳

国籍	調査回答数 (a)	自由記述の数(b)	b/a
中国	1,861人	989人	53.1%
インドネシア	176人	61人	34.7%
ベトナム	65人	31人	47.7%
合計	2,102人	1,081人	51.4%

※ 中国籍の回答のうち、32件は日本語記述であった

(2) 自由記述の内容について

①日本での3年間の滞在を前向きに捉えたものが全体の約8割と大半を占めており、帰国実習生が日本での経験に概ね満足している様子が窺われた。一方、不満・要望の記述を含むものが15%程度、その他制度に対する不満や要望の訴えを含む意見も僅かであるが5%程度みられた。

②これら約8割のうち、日本での滞在を前向き（肯定的）に捉えたものについては、日本での3年間で「学んだ」、「修得した」、「能力が向上した」とするものが約8割と大半を占めた外、日本での滞在を「満足している」等感想的に記したのも2割程度に上っていた。

③日本での3年間で「学んだ」、「能力が向上した」とするものについては、「技術・技能や修得」や「日本語の修得」を上げるものが多かった。また、これらに関連して「品質管理」、「生産管理」、「職場の安全措置」、「仕事に対する取組姿勢」等もあった。

※肯定的意見の記載例

- ◎「今回の研修で、帰国後の生活にとっても役に立ちました。帰国後私は大企業に採用され、この会社で日本研修期間中に学んだ科学技術や管理方法を発揮することができました。本当に大きな収穫を得ることができました。」
- ◎「技術が向上し、考え方が成長しました。」
- ◎「日本人の仕事に対する態度と仕事の効率の全てが私の大きな啓発と糧となりました。」
- ◎「日本の3年間で、先進的な技術と日本語を学びました。帰国後、現在の仕事に活かすことができます。」
- ◎「技術を学び、見識が広がり、本当の先進的な管理及び品質意識、安全意識を経験しました。」
- ◎「研修を通して技術を修得し、日本の先進的な技術を学びました。また、日本語も向上し、日本の生活を体験しました。」
- ◎「日本で先進的な技術、品質管理および生産管理の方法を学び取りました。」

④生活面で学んだこととしては、異国での生活体験により、「日本の国民性」や「文化」に関するもの、「自立能力が養われた」とするものもみられた。

※記載例

- ◎「日本人の仕事の態度や生活習慣、礼儀作法及び労働意欲について学ぶことができました。」
- ◎「3年間の研修生活を通じて、自立能力が養われ、先進的な技術を学び取れました。また、日本の独特な風俗習慣、風土、人情なども体験できました。」
- ◎「日本の先進的な技術、生活習慣、そしてマナーや良い環境などを学び取りました。」

⑤日本での3年間の印象を感想的に記したものとしては、「良かった」、「満足」、「ありがとう」とするものがあった。

※記載例

- ◎「研修から多くのことを学びました。ありがとうございました。」
- ◎「今回の研修はとても良く、満足しています。」
- ◎「日本に来てよかったと思う。」
- ◎「ご支援頂きありがとうございました。」

⑥日本での3年間の滞在に対する不満・要望に関するものは大きく分けて、業務面、収入面及び生活面に集約された。このうち、業務面に関するものでは、「想像していたほど日本で一定の専門的な技術が学び取れなかった」、「言語、技術、生活環境について、研修生がもっと学べるような条件を整える必要がある」などがあった。

※業務面の記載例

- ◎「言語、技術、生活環境について、研修生がもっと学べるような条件を整える必要があります。」
- ◎「良い点は、日本の人の仕事に対する意識、職場規律、安全措置などが中国より大幅に優れていることです。不満な点は、想像していたほど日本で一定の専門的な技術が学び取れなかったことです。」

⑦収入面に関するものについては、「当初想定していたより収入が少なかった」等があった。

※記載例

- ◎「残業がなく、支払われる賃金が少なすぎます。」
- ◎「賃金が低いです。」

⑧生活面に関するものについては、「日本の物価が高いこと」、「家族から離れて寂しかった」、「孤独」等があった。

※記載例

- ◎「自分を成長させる経験が得られ、多くのものを学びました。人とのよりよい接し方が分かりました。ただ、3年間家族や友人に会えなくてとても寂しかったです。」
- ◎「①携帯電話の使用が禁止されました。②インターネットの接続が禁止されました。」
- ◎「良い人間となる道理を学ぶことができ、自分の視野を広げることができ、また見識を広められたと思う。ただし、仕事、生活に限らずいつも一部の日本人から差別を受けた。」
- ◎「日本における仕事の態度や流れを十分に感じ取れました。ただ、物価が高すぎます。」

⑨帰国実習生からの要望としては、「滞在期間の延長」や「再入国」に関するものもあった。

※記載例

- ◎「実習の時間が短すぎます。更に2年延長できればいいと思います。」
- ◎「仕事と生活のいずれもがとても良く、感動しました。また日本に行けるよう、政策を改善してほしいです。」

⑩JITCOに関するものもあった。

※記載例

- ◎「今回の研修の機会を与えてくださり、国際研修協力機構に感謝します。今後の人生で、さらに努力して一つ一つの事に取り組みます。」
- ◎「研修及び技能実習についてJITCO側の注意が及んでいない点があると思われるので、今後関係者にはご留意の上改善の努力をお願いしたいと思います。」

III 參考資料



言語区分を日本語で
入れる。
(中国語 or インドネシア語、
or ベトナム語)

帰国実習生フォローアップ調査票

日本における研修・技能実習ご苦労様でした。

今後の研修・技能実習をより良いものとするため、以下のアンケートに回答ください。

回答は、当調査票の各質問右横にある□赤枠内や () に該当する記号などを記入してください。

なお、当アンケートの取扱いについては、以下のとおりとなっておりますのでご注意ください。

- ・当アンケート結果によって、回答された方が不利益な扱いを受けるものではありません。
- ・回答者のお名前や記入内容を受入れ機関等に知らせることはありません。
- ・当アンケートは、母国へ帰国後に同封の「料金受取人払い郵便」封筒に入れて2009年2月15日までに、投函してください。(投函する際に、切手をはる必要はありません。)

1 名前、受入れ団体名・企業名、送出し機関名について、教えてください。

名 前		(記入しなくても可)
受入れ団体名		(記入しなくても可)
受入れ企業名		(記入しなくても可)
送出し機関名		(記入しなくても可)

2 性別、年齢、研修・技能実習期間について、教えてください。

①性別	A. 男性	B. 女性	<input style="width: 80px; height: 25px;" type="text"/>
②年齢	A. 20～25歳	B. 26～30歳	C. 31歳以上 <input style="width: 80px; height: 25px;" type="text"/>
③研修・技能実習期間	20 <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> 年	<input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> 月	～ 20 <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> 年 <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> 月

3 あなたが、日本で行った研修・技能実習の職種について、教えてください。

A. 農業	B. 漁業	C. 建設	<input style="width: 80px; height: 25px;" type="text"/>
D. 食料品製造	E. 繊維・衣服(縫製)	F. 機械金属製品製造	
G. 溶接	H. プラスチック製品製造	I. その他	

4 あなたが、日本に来た目的について、教えてください。
(複数選択可)

A. 技術の習得	B. 日本語の習得	C. お金を稼ぐ	<input style="width: 80px; height: 25px;" type="text"/>
D. 日本での生活を経験	E. その他 ()

5 あなたが、日本で実際に行った研修において、受け取った手当はあらかじめ約束された金額と同じでしたか。

A. 同じ	B. 多い	C. 少ない	D. 受取金額について事前に聞いていない	<input style="width: 80px; height: 25px;" type="text"/>
-------	-------	--------	----------------------	---

6 あなたが、日本で実際に行った研修期間中に、残業はありましたか。

- A. なかった B. あった

7 あなたが、日本で実際に行った実習において、受け取った賃金はあらかじめ約束された金額と同じでしたか。

- A. 同じ B. 多い C. 少ない D. 受取金額について事前に聞いていない

8 あなたが、日本で実際に行った実習期間中に、残業はありましたか。

- A. なかった B. あった

※また、残業があった場合、残業代は支払われていましたか。

- A. 支払われていた B. 一部支払われていた C. まったく支払われていない

9 あなたが、日本で実際に行った研修・実習において、
次のようなことがあれば選んでください。(複数選択可)

- A. 携帯電話の使用を禁止された
- B. 日本にいる知り合いの研修生・技能実習生に電話したり会うことを禁止された
- C. 研修生・技能実習生だけで外出することを禁止された
- D. 母国語の新聞を読むことを禁止された
- E. インターネットの使用を禁止された

10 あなたは、出国前に保証金（あなたが日本における研修・技能実習中に失踪などをしないことを保証するために納めるお金）を納めましたか。

- A. はい →いくらでしたか？
B. いいえ

(中国語版の場合) 元

各現地通貨
を入れる。

11 保証金は帰国後、返還されましたか。

- A. 全額返還された B. 一部返還された C. 全額返還されなかった

12 ① 母国への帰国後の就職状況について教えてください。

- A. 日本に行く前に働いていた会社に戻って働いている
- B. 日本に行く前とは違う会社で働いている
- C. 自分で又はほかの人と協同で事業を行っている
- D. 仕事がないので、探している
- E. 仕事をする予定はない

② ①でE. 「仕事をする予定はない」以外の回答をした方は、仕事の内容について教えてください。

- A. 実習で行った仕事と同じ仕事である
- B. 実習と同じ仕事ではないが、関係のある仕事である
- C. 実習で行った仕事と関係のない仕事である

13 ① 12の①でA. 又はB. を回答した方は、帰国後の職務上の地位について
教えてください。

- A. 来日前より下がった
- B. 来日前と同じ
- C. 来日前より上がった

② 具体的に、帰国前・帰国後の職務上の地位について教えてください。(分かる範囲で構いません。)

[来日前]

- A. 一般従業員クラス
- B. 主任クラス
- C. 係長クラス
- D. 課長クラス
- E. 部長クラス以上

[帰国後] (まだ復職されていない場合は、予定を記入してください。)

- A. 一般従業員クラス
- B. 主任クラス
- C. 係長クラス
- D. 課長クラス
- E. 部長クラス以上

14 研修・技能実習で得たもののうち、帰国後、役に立ったことについて、教えてください。

(複数選択可)

- A. 実習で習得した技術
- B. 品質管理や生産管理の方法
- C. 仕事に対する意識
- D. 職場の規律
- E. 職場の安全対策
- F. 会社の経営方法
- G. 日本語能力
- H. 日本人との交流
- I. 日本での生活経験
- J. 日本で貯めたお金
- K. その他 (

)

15 研修・技能実習を通して、良かった点・不満に感じた点等について、自由に記入してください。

ご回答ありがとうございました。

このアンケート調査票を、同封の返信用封筒(料金受取人払い郵便のため切手をはる必要はありません)
に入れ、2009年2月15日までに返信してください。

以 上

【回答記入例】

次の黒太枠内は、記入例です。当記入例を参考に、1～3ページに記入してください。

2	性別、年齢、研修・技能実習期間について、教えてください。											
①性別	A. 男性	B. 女性		<input type="text" value="A"/>								
②年齢	A. 20～25歳	B. 26～30歳	C. 31歳以上	<input type="text" value="B"/>								
③研修・技能実習期間	20	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="5"/>	年	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="2"/>	月	～	20	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="8"/>	年	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="2"/>	月	
3	あなたが、日本で行った研修・技能実習の職種について、教えてください。			<input type="text" value="F"/>								
A. 農業	B. 漁業	C. 建設										
D. 食料品製造	E. 繊維・衣服（縫製）	F. 機械金属製品製造										
G. 溶接	H. プラスチック製品製造	I. その他										
4	あなたが、日本に来た目的について、教えてください。 （複数選択可）	<input type="text" value="A"/>	<input type="text" value="C"/>	<input type="text"/>								
A. 技術の習得	B. 日本語の習得	C. お金を稼ぐ										
D. 日本での生活を経験	E. その他（			）								
5	あなたが、日本で実際に行った研修において、受け取った手当はあらかじめ約束された金額と同じでしたか。			<input type="text" value="B"/>								
A. 同じ	B. 多い	C. 少ない	D. 受取金額について事前に聞いていない									

2008年度帰国実習生フォローアップ調査報告書

編集・発行

財団法人 国際研修協力機構

〒105-0013 東京都港区浜松町1-18-16

住友浜松町ビル4階

TEL. (03) 6430-1181

FAX. (03) 6430-1115
